

みんなで考えてみましょう

婦人の役わりの変化

たとえば――

むかし

家族に必要なものは
自分の手でつくり
教育や看護なども
おもに家の中で行な
う

家
庭

いま

社会的分業がすすん
でいる
商品やサービスを適
切に利用して 家庭
を管理する力が必要

むかし

おもに家業をたす
けて働く
職業の種類は少ない

職
業

いま

伝統的な仕事のほか
にも 現代社会が求
める無数の職業に
婦人が働いている

むかし

身内や隣近所だけで
たすけあう
世の中のことは少数
の人にまかせておく

社
会

いま

生活は多くの人のチ
ームワークと相互依
存のうえになりつつ
一人一人の関心と協
力が必要

婦人週間とは――

昭和21年4月10日に 日本の婦人は
はじめて国会議員を選挙しました この
選挙から婦人も男子と同じく 政治
に参加することになりました。

この4月10日を記念して 労働省で
は昭和24年から毎年 その日から一週
間を“婦人週間”として 婦人の地位
をたかめるための運動を主唱してきて
います 今年は その第18回目にあた
り“今日における婦人の役わり
――進展する社会のなかで――”
ということをテーマとしています

このリーフレットの増刷 転載を
希望されるむきは 労働省婦人少
年局 または各都道府県の婦人少
年室にご連絡ください

今日における

婦人の役わり

――進展する社会のなかで――

第18回
婦人週間



労働省婦人少年局

リーフレット No. 97

いま日本の社会は 科学の進歩 経済の発展にともなって急速にうごき 私たちの生活も大きくかわっています

同時に いろいろの問題が発生しています

- ▷商品が大量生産され 消費物資は豊富になった
- ▷既製品や家庭電化が普及して 家事労働はかるくなった
- ▷娯楽設備もふえ みんなが生活を楽しむようになった
- ▷農業のやりかたがかわり 農家のくらしも都会的になっている
- ▷働いて収入を得る主婦がふえている
- ▷交通はますますべんりになり 生活圏がひろがっていく
- ▷平均寿命が長くなり 子どもの体格もよくなった

- ▷流行や広告にふりまわされる
- ▷余暇の使いかたがうまくいかない
- ▷家族がバラバラな気持ちでいる
- ▷教育に大変な金がかかる
- ▷老後の生活が不安になる
- ▷農家の主婦も 職場の婦人も 仕事と家庭の両立に苦勞している
- ▷心あたたまつきあいが少なくなる
- ▷公害や事故におびやかされる
- ▷緑地や文化財がそこなわれていく
- ▷今までの考えかたや しきたりが時勢にあわなくなる

このように近代化がすすみ生活はゆたかになってきていますが――

役わりをはたしていくうえに大切なこと

- 社会のうごきと 婦人の役わりとの関連について 理解をふかめる
- 社会の進展に適応しながら 社会をよりよくするために働きかける

- 積極的に生活設計をする
- 知識や技術を習得する
- みんなで力をあわせる

婦人の役わりは 時代や社会の変化とともにかわるものです

うごきのはやい 問題の多い今日の社会において 婦人に期待される役わりはどのようなものでしょうか

主婦として
母親として
働く婦人として
市民として

婦人参政権行使20周年の

この婦人週間に

新しい視野にたって
婦人の役わりを
考えてみましょう

- ☐ ゆたかな生活をきずくために
- ☐ 次代のすこやかな成長のために
- ☐ 社会に新しい秩序をつくりだしていくために
- ☐ 日本の文化をさらにたかめ福祉をすすめていくために